



霧島工場

- 本社所在地：
鹿児島県始良市加治木町小山田5928-1
- 事業概要：
オムライス専門店（直営・FC展開）
食品造業（冷凍オムライス）
- 常時使用する従業員：193名（2025年3月期）
- 現在の売上高：56億円（2025年3月期）
- 法人番号：4340001011198
- Web：<https://www.pomunoki.com>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
出原 孝雄

【経営理念】 食を通して 世の為 人々の為に尽くします
【営業理念】 お客様の満足を追求し 安心安全な商品を提供します

弊社は経営理念実現のため、お客様に提供しうる5つの価値を妥協することなく店舗運営を行っていくことを全社員共通のテーマとしております。そのうえで、オムライス業界No1シェアの維持拡大および会社の成長と社員の幸福を目標とし、また、積極的な社会貢献を実現するために、これまで培った会社資産（技術力・豊富なメニュー・人財）を適切に活用します。さらに、より会社価値を高めていくために、継続した商品開発・教育訓練や新業態開発、設備投資を積極的に推進してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 【目標】2023年3月期 売上高100億達成
- 技術力：長年の経験で培った「冷凍・解凍技術と品質保持技術」は、冷凍オムライス製品の食感と風味を格段に向上させ市場での優位性を確立
 - 豊富なメニュー：直営・FC店舗で展開する100種類を超えるバリエーションから、冷凍食品向けに最適なメニューを選定・改良し、多様な顧客ニーズに対応
 - 人財：熟練の調理人や店舗運営ノウハウを持つ人財、そして食品製造の専門知識を持つ人財が、新工場での生産効率向上とFC展開の成功に不可欠な役割を担う

課題

- ・人財確保 営業力（経験値の高い人材確保）専門性の高い中途採用の強化社内プログラムの強化
- ・業務効率化～設備投資 新自動化のライン増加を行い向上させたい。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 冷凍オムライス
 - ・既存製造ラインの増強と自社工場増設
 - ✓ 外注比率約50%を自社製造100%へ
- 冷凍オムライسدリア製品化
 - ・冷凍オムライス製造ラインの活用が可能
 - ✓ 冷凍オムライスとの相乗効果で売上増を見込む
- 既存販売チャネル活用と販路拡大

実施体制

- ・専用工場新設
 - ⇒新工場に伴う雇用の創出
- ・冷凍製品研究開発部門新設（冷凍オムライス・オムライسدリア）
- ・EC販売チャネル組織強化
- ・営業力強化
- ・FC展開活性化

売上高100億円実現の目標シナリオ

100億
達成

		前期決算期	最新決算期	補助事業実施期間							
		24年3月期	25年3月期	26年3月期	27年3月期	28年3月期	29年3月期	30年3月期	31年3月期	32年3月期	33年3月期
					基準年度	事業化報告 1年目	事業化報告 2年目	事業化報告 3年目			
全社	売上高（千円）	5,406,318	5,580,269	6,270,887	6,748,849	7,268,068	7,832,992	8,448,693	9,120,971	9,856,483	10,662,890
	売上高成長率	15.6%	3.2%	12.4%	7.6%	7.7%	7.8%	7.9%	8.0%	8.1%	8.2%
			創業フェーズ（投資済）	第17フェーズ 投資			第27フェーズ 投資				
補助事業	売上高（千円）		事業スタート	300,000	360,000	432,000	518,000	621,000	745,000	894,000	1,072,000
	全社に占める割合			5%	5%	6%	7%	7%	8%	9%	10%
	売上高成長率				20.0%	20.0%	19.9%	19.9%	20.0%	20.0%	19.9%

外食部門はオムライス専門店（多店舗展開企業）として日本のリーディングカンパニーとして安定成長。成長率実績も鑑み目標の7%成長は十分達成可能。
冷食製造部門はこれまで他社OEM生産であったが前年度自社生産工場を立ち上げ（創業）。
創業フェーズはOEMから自社生産への切替
今般取り組む次のステップ・フェーズは商品ラインアップの拡充（冷凍オムライスドリア）
「ポムの樹」ブランド（店頭の味を自宅で）を活かし、市場にはない「冷凍オムライスドリア」の開発により商品ラインアップを拡充し、冷凍食品においても「ポムの樹」の認知度を高めることで成長率年平均20%達成を目指す